

## 2021年第1回IEEE Japan Council 理事会議事録（案）

日 時：2021年3月15日(月) 13:30～18:00

場 所：住友電気工業株式会社 東京本社 3階 ホール

出席者：橋本 Chair、高村 Vice Chair、重松 Secretary、前原 Treasurer、

以下、敬称略・順不同

佐藤(源)、佐藤(敏)、中野、小林、石垣、稲森、片山、畑、松居、上田、上原、庄山、末松、大野、桑原、河東、

滝嶋、羽瀧、白川、奥村、佐藤(高)、高野、鈴木(麻)、野田、福田、小菅、南、鈴木(拓)、西原、矢野

オブザーバ：百武、梶川

事務局、幹事会社事務担当

### 議題：

- |                                   |         |
|-----------------------------------|---------|
| 1. 前回理事会議事録の確認（審議）                | 資料（1）   |
| 2. 2021年 Japan Council 理事会構成（報告）  | 資料（2）   |
| 3. 2020年決算報告・監査報告                 | 資料（3）   |
| 4. 2021年活動計画および2021年予算（報告）        | 資料（4）   |
| 5. 2021年中間会計報告                    | 資料（5）   |
| 6. 常設委員会 前回理事会以降の活動報告             | 資料（6）   |
| 6-1 Chapter Operations Committee  | 資料（6-1） |
| 6-2 Student Activities Committee  | 資料（6-2） |
| 6-3 Awards Committee              | 資料（6-3） |
| 6-4 Industry Promotion Committee  | 資料（6-4） |
| 7. Ad-Hoc 委員会 前回理事会以降の活動報告        | 資料（7）   |
| 7-1 Long Range Strategy Committee | 資料（7-1） |
| 7-2 History Committee             | 資料（7-2） |
| 8. Coordinator 前回理事会以降の活動報告       | 資料（8）   |
| 8-1 MD                            | 資料（8-1） |
| 8-2 YP                            | 資料（8-2） |
| 8-3 LMAG                          | 資料（8-3） |
| 8-4 EA                            | 資料（8-4） |
| 8-5 WIE                           | 資料（8-5） |
| 9. 各支部 2021年活動計画および前回理事会以降の活動報告   | 資料（9）   |
| 9-1 札幌支部                          | 資料（9-1） |
| 9-2 仙台支部                          | 資料（9-2） |

9-3 信越支部	資料 (9-3)
9-4 東京支部	資料 (9-4)
9-5 名古屋支部	資料 (9-5)
9-6 関西支部	資料 (9-6)
9-7 四国支部	資料 (9-7)
9-8 広島支部	資料 (9-8)
9-9 福岡支部	資料 (9-9)
10. その他	資料 (10)
10-1 R10 Annual Meeting 2021 参加報告	資料 (10-1)
10-2 MGAARC のトピックス	資料 (10-2)
10-3 シニア昇格記念メダルの活用に関わる手順等	資料 (10-3)
10-4 情報システムの運用について	資料 (10-4)
10-5 IEEE Concentration Banking,(CB)account について	資料 (10-5)
[参考] IEEE Japan Council メール審議記録	
[参考] 支部別会員数/支部別 Society 会員数の推移	
[参考] Region 10 からのメール連絡一覧	

議事：

0. Chair ご挨拶

Chair より開会の挨拶が述べられた。

1. 前回理事会議事録の確認【審議 ⇒ 承認】 資料（1）

Secretary より前回理事会(2020年12月開催)の議事録について説明があり、異議なく承認された。

2. 2021年 Japan Council 理事会構成（報告） 資料（2）

Secretary より 2021-2022年の Japan Council 理事会・委員会の構成メンバーが紹介された。

MGA ARC Past Chair より、活動が活発になるにつれて JC Secretary と JC 事務局の負担も大きくなっていくので、適宜理事会のメンバーを増やして負担を分散してはどうかと意見があった。

3. 2020年決算報告・監査報告 資料（3）

Past Treasurer より、2020年の決算報告及び監査報告の説明があった。監査からの指摘もあり、今まで予備費として備考欄に記載していた広告費を新たに追加し、MAW 関連費用も会合費として組み込むようにした。

4. 2021年活動計画および2021年予算（報告） 資料（4）

Secretary より、2021年活動計画の説明がなされ、2021年の第2回 Japan Council 理事会の日程はオリンピックの開催日時と重ならないスケジュールにした旨、再確認があった。（7月23日→7月16日へ変更）

Treasurer より 2021年予算の報告があった。コロナウイルスの関係で Section Assessment の還元および Section 支援費、Chapter 支援費は前年より低く設定をしていること、メダル制作などの広告費を従来の備考欄掲載から移したことの説明があった。また、コロナウイルスの影響によりイベントなどが中止になる懸念も踏まえて、修正予算の作成は柔軟に行うことの説明があった。

5. 2021年中間会計報告 資料（5）

Treasurer より、2021年中間会計の報告がなされ、収入、支出とも2月末時点での大きな動きは無いが今後引き続き各支部からの拠出金および収入があることの説明があった。

6. 常設委員会 前回理事会以降の活動報告 資料（6）

#### 6-1 Chapter Operations Committee

資料 (6-1)

COC Chair より、2020 年活動報告、および 2021 年活動計画について説明がなされ、2021 年の 6 月と 12 月に、ハイブリッド形式のミーティング開催を想定していることが報告された。

Chapter 支援費については、2020 年は、コロナの影響で行事が出来ない状況でアワードの支援以外の講演会支援が減っており、予算額より低い執行となった。2021 年は低めの予算としているが、予算の拡大は可能なのでコロナ禍の中でも COC のミーティングでアクティベートしてゆきたい。

国際学会に参加しづらい状況下、国内でサブサイトの立ち上げを検討したい。オンライン申請は Kintone が稼働しているので活用してゆきたい。Chapter 支援費の Section 移行については、今後実施に向けて進めてゆきたい。

#### 6-2 Student Activities Committee

資料 (6-2)

SAC Chair より、1-3 月の活動実績と今後の活動計画について説明がなされ、Student Brunch の Probation と Dissolution に対する活動、静岡大学の取り組み、福井大学の名称変更について報告がなされた。

各支部で Probation リストが届いた場合は、大野 SAC Chair まで報告するよう要請があった。

#### 6-3 Awards Committee

資料 (6-3)

AC Chair より活動状況について報告がなされた。

Corporate Awards の現状確認、2021 年活動計画、IEEE 本部の委員情報収集について報告、IEEE Medal Committees 等のメンバーリスト紹介、2021 年新 Fellow リスト等の紹介がなされた。

#### 6-4 Industry Promotion Committee

資料 (6-4)

IPC Chair より、2020 年の活動報告と 2021 年計画について報告がなされた。

Past Secretary より、情報発信をさらに強力に進める点、企業の要望を考える点で、アプローチ方法や体制の検討の必要性についてコメントがあった。

Chair より、企業への価値提供、社会への価値提供、IEEE のプレゼンス向上など様々な検討が必要であり今後議論してゆきたい旨のコメントがあった。

MGA YPC Vice Chair、MGA ARC Past Chair より、企業や若手の人など様々な人へのアプローチ、R10 や IEEE 本部の Committee に人を送り込むことについて意見が出された。

AC Chair より、企業にとっての認知度、魅力、誇りの点ではマイルストーンが重要であり、プロモートして取ることが出来ると会社幹部の認識が変わる、とのコメントがあった。

## 7. Ad-Hoc 委員会 前回理事会以降の活動報告

資料 (7)

### 7-1 Long Range Strategy Committee

資料 (7-1)

LRSC Chair より、ハイグレード会員の増強と他学会との連携強化を重点課題として取り組むこと、会員自らが Fellow 昇格を希望する状況へシフトしたい点、申請者・申請検討者への情報提供として Webinar 開催を検討する旨報告があった。

MGAARC Past Chair より、シニアメンバーについては、MD で推進すべきとの意見が出され、LRSC Chair より、MD 主体としつつも JC 全体の重要課題として臨機応変に取り組んでゆくというスタンスが説明された。

### 7-2 History Committee

資料 (7-2)

HC Chair より、過去1年間で認定された5件のマイルストーンについて説明があった。

Chair より、対象となる技術の探査方法について質問があり Chair より、年に1回の委員会で要請している旨の説明があった。

## 8. Coordinator 前回理事会以降の活動報告

資料 (8)

### 8-1 MD

資料なし

MD Coordinator より、2021年のMD活動計画について説明があった。  
委員が交代となったため、春と秋に各支部のMDメンバーで Senior Member 増強および IEEE の会員数が減少している問題について議論予定。ベストプラクティスを発案して共有していきたいと考えていると説明があった。

### 8-2 YP

資料 (8-2)

YP Coordinator が急遽欠席となったため、報告は割愛となった。

### 8-3 LMAG

資料 (8-3)

LMAG Coordinator より、2021年の活動計画について報告があった。日本には現在関西、名古屋、仙台、東京の4つのLMAGがあり、残りの信越、広島、福岡、札幌の設立には今後も力を入れていきたいと考えている。

JC 中の LMAG は従来各支部で閉じて行っていたが、今後は支部同士で共同イベントを行うなど、交流を増やしていきたい。各 LMAG の活動は News Letter や vTools を通して報告がされている一方で、R10 各種の賞に日本が入ることができていないため、今後はホームページの充実、そして英語版のホームページの整備も行っていきたいと考えていると説明があった。

Secretary よりホームページの充実に関しては幹事会社としても取り組んでいきたい事項であり、進めていきたいと発言があった。

#### 8-4 EA

#### 資料 (8-4)

EA Coordinator より、EA の活動計画およびそれに伴う予算、講演会の実施予定や Try Engineering 機械翻訳修正プロジェクト等について説明があった。また、現在 R10 寄りの視点に偏ってしまっているため、JC 全体としての計画について議論ができるようなミドル世代を主なメンバーとしたローカルなグループを、JC EA Coordinator の下に設立したいと提案があった。

これについて、以下の議論がなされた。

名称については、TA Past Vice President から既存組織との識別性の意見があり「JC EA Group」の名称が EA Coordinator より提案された。

MGA ARC Past Chair より、日本の IEEE における教育活動と EA の活動への意見、Try Engineering の翻訳の JC 外への委託提案、予算に関する意見があった。

SAC Chair および MGA YPC Vice Chair より、翻訳をボランティアとして学生が体験することの意義についての意見、Chair より、グループを作ってまず活動をしてみることの重要性についての意見、Past President より、ローカルなコミュニケーションができることの意義についての意見があった。

以上を踏まえ、EA Coordinator より、様々な意見を頂戴し一緒に考えていきたい。そのためにはまずは行動してみることが重要である、と説明があった。

Chair より、本件 JC EA Group 設置提案の認否は Voting により決定したいとの提案がなされ、採決を行った。

本提案についての投票結果は、賛成 16 票、欠席 1 票、棄権 0 票となり、承認された。

#### 8-5 WIE

#### 資料 (8-5)

WIE Coordinator より、2021 年 WIE の活動計画について説明があった。現在 WIE のメンバー数は札幌が 10 名、仙台 14 名、東京信越 60 名、名古屋 9 名、関西 28 名、四国広島福岡で 7 名。今年の 5 月までには各支部の Chair の方々と活動状況の把握や情報共有、予算について話す会議を行う予定。イベントについては、3 月 8 日の国際女性デーにオンラインの少人数イベントを実施済、今年の 9-11 月に WIE2021 を開催予定である。

Past President より、次回から WIE も BoD の Voting Member になるので、R9 や R10 の協力も得て積極的に様々な案を出し、コストの掛からないオンライン形式をフルに活用して枠組みを作りたいと意見があった。

### 9. 各支部 2019 年活動計画および前回理事会以降の活動報告 資料 (9)

#### 9-1 札幌支部

#### 資料 (9-1)

Secretary より、支部 Chair の代読として説明があった。

今回の MAW テーマは「データサイエンスが加速する異分野連携と社会実装」で進めていく予定であり、開催日時は 10 月 30 日を予定している。翌日 31 日午前には Japan SYWL

Workshop も実施予定であり、同日午後に LMAG 設立に伴ったシンポジウムも開催検討中。

#### 9-2 仙台支部

資料 (9-2)

支部 Chair より、2021 年の事業計画についての説明があった。4 月開催予定の年次総会の内容を充実させるべく、新フェローによる記念講演会や、Senior Member の昇格者紹介、メダル贈呈などを実施する予定。また、「Organizational Supporting Friend of IEEE Member and Geographic Activities Award」の受賞紹介に併せて、プラークも贈呈する。

#### 9-3 信越支部

資料 (9-3)

支部 Chair より 2020 年の活動報告及び 2021 年の活動について説明があった。主に学生ランチの活動強化のほか、オンライン開催の幅広さを利用して講演会開催や国際会議の協賛をするなど、支部傘下の Chapter MAG33 Shin-etsu の活動を充実させることを検討中。

#### 9-4 東京支部

資料 (9-4)

支部 Chair より、2021 年の活動計画の説明があった。2021 年に実施の今年の YP 活動のキックオフミーティング、及びマイルストーン表彰式についても紹介があった。Past Secretary から、WIE 予算について質問があり、Past Treasurer から暫定的扱いであり、中間段階での見直し可能性があることの説明があった。MGA YPC Vice Chair、MGA ARC Past Chair、R10 Past Director からボストン支部との交流についてコメントがあり、Past Secretary から、明確な活動がない現状の説明があった。SAC Chair から、ソウル支部との交流については交流活動は行っている旨の説明があった。

#### 9-5 名古屋支部

資料 (9-5)

支部 Chair より 2021 年の活動報告について説明があった。役員会および拡大理事会の実施に加え、3 月 16 日にマイルストーンの贈呈式を開催予定とことが主に挙げられた。マイルストーンに関してはデンソー&デンソーウエーブ、東芝キャリアの 2 件が受賞。また電子情報通信学会と協賛した「東海 3 大学通信系研究室合同修論発表会」の実施や若手奨励賞受賞者講演会等の実施報告もされた。

#### 9-6 関西支部

資料 (9-6)

支部 Chair より 2020 年 12 月以降の活動報告について説明があった。2 月に行われたオンライン年次総会では YP 賞が 2 名、学生研究奨励賞が 9 名、そして新 Senior 会員 19 名に関西支部メダルを授与。加えて新 Fellow に昇格した 3 名のご紹介と、うち 2 名に研究内容のご講演をいただいた。

#### 9-7 四国支部

資料 (9-7)

支部 Chair より、2021 年の活動計画について説明があった。  
役員会で挙げられた目標は Senior Member の増強だが、全体的に支部に人が少なく厳しい状況のため、数年前の役員を Senior Member 化することを検討中。  
WIE に関しては福岡支部、広島支部との連携を強めていきたいと考えている。

#### 9-8 広島支部

資料 (9-8)

支部 Chair より、2021 年の活動計画について説明があった。広島支部の柱としている世界初の学生が企画し学生が運営するシンポジウム HISS の開催、会員獲得に向け Senior、企業などへのアピールにも力を入れたい旨の説明があった。  
IEEE ジャパンオフィスより、支部と Chapter の連携という意味で、Senior Member 昇格という点から始めてもいいのではないかとのコメントがあり、Secretary より、Senior Member に関しては、JC も各支部も取り組んでおり検討したいとのコメントがあった。  
MD Coordinator より、MD メンバーを中心に、身近な人に Senior 昇格の声をかけるのが効果的である旨、またノミネーションすると推薦人数やリファレンスレターが少なくて済むなどの情報を Web サイトで周知しており効果ある旨の説明があった。

#### 9-9 福岡支部

資料 (9-9)

支部 Chair より 2021 年の活動計画および理事会開催報告について説明があった。  
表彰関係では、7 月に学生研究奨励賞と発表奨励賞の 2 つを内容審議し、2022 年 1 月には受賞者を審議したいと考えている。また、福岡支部には LMAG が設立されていないため、LMAG Coordinator のご協力を得て、設立に向けても検討中。

#### 10. その他

資料 (10)

##### 10-1 R10 Annual Meeting 2021 参加報告

資料 (10-1)

Secretary より、R10 Annual Meeting が 2021 年 3 月 6 日と 7 日の 2 日間、オンラインにて開催され、日本からは支部の Chair の方々を含めて 21 名が参加したことが報告された。各支部の各 Committee の Chair に資料を共有し活動への理解を深めてほしい旨、要請があった。

##### 10-2 MGA ARC 活動のトピックス

資料 (10-2)

MGA ARC Past Chair より、Call for nominations for the 2021 MGA Outstanding Section Awards と、MGA Diversity and Inclusion Award の新設について報告があった。

### 10-3 シニア昇格記念メダル活用に関わる手順等

資料 (10-3)

Past Secretaryより、シニア昇格記念メダルに関し、各支部の中で活用してゆくための申請手順について説明があった。メダルを授与する際には式典等の開催を考慮してほしい旨、支部でメダルを活用した際には授与された人のコメント等を含め理事会等で共有してほしい旨、メダルのデザインの由緒についての説明をしてほしい旨、要請があった。

支部Chairよりメダルデザインの簡単な説明をあらかじめ用意できないかとの依頼があり、メダルに同封する説明書を作成することとなった。

### 10-4 情報システムの運用について

資料 (10-4)

Secretaryより、GaroonとKintoneとの登録が完了しており、活用してほしい旨の説明があった。Chapter支援費の申請手続きへの活用について要請があった。

### 10-5 IEEE Concentration Banking,(CB)account について

資料 (10-5)

Past Treasurerより、CBアカウントの状況、留意点について説明があった。

【参考】 IEEE Japan Council メール審議記録

【参考】 支部別会員数/支部別Society会員数の推移

【参考】 Region10からのメール連絡一覧

以上